

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 74 回水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日時 2025 年 10 月 1 日 (水) 13:30～16:00

2. 場所 Webex による Web 会議

3. 出席者 (順不同、敬称略)

(出席委員) 河村 (主査)、室屋 (副主査)、宮重 (平幹事代行)、中野、杉野、梅原、岡田、
松永、宇井、大橋、高木、長瀬 (12 名)

(常時参加者) 中浜、三島、遠藤、後澤、市橋、山崎、前田 (7 名)

(オブザーバ) 西村 (1 名)

4. 配付資料

【P11SC74-0】 第 74 回水化学管理分科会議事次第

【P11SC74-1】 第 73 回水化学管理分科会_議事録案 draft0

【P11SC74-2-1】 PWR 一次系水化学管理指針改定案.docx

【P11SC74-2-2-1】 新旧比較表_本文.docx

【P11SC74-2-2-2】 新旧比較表_附属書 B.docx

【P11SC74-2-2-3】 新旧比較表_附属書 C.docx

【P11SC74-2-2-4】 新旧比較表_附属書 D.docx

【P11SC74-2-2-5】 新旧比較表_附属書 E.docx

【P11SC74-2-2-6】 新旧比較表_附属書 F.docx

【P11SC74-2-2-7】 新旧比較表_附属書 G-I.docx

【P11SC74-2-2-8】 新旧比較表_解説.docx

【P11SC74-2-3】 コメント対応一覧表 R1.docx

【P11SC74-2-4】 PWR 一次系水化学管理指針_改定_本報告案 R1.1.pdf

【P11SC74-2-5】 STC25-01_結果報告 (一式) .pdf

【P11SC74-3】 欠番

【P11SC74-4-1】 2025 年度水化学管理分科会倫理教育

【P11SC74-4-2】 2025 年度倫理教育受講結果報告(BWR 作業会)

【P11SC74-4-3】 2025 年度倫理教育受講結果報告(PWR 作業会)

【P11SC74-5-1】 標準策定 5 か年計画更新版作成の依頼文 (2026 年度版)

【P11SC74-5-2】 標準策定 5 か年計画 (2026 年度システム安全)

【P11SC74-5-3】 SG-105_st-formu-5plan-upguide_r4

【P11SC74-6-1】 標準アンケートへの対応 (2026 年度システム安全)

【P11SC74-7-1】 新知見の提案（2026 年度システム安全）

5. 議事

(1) 本分科会の成立について

宮重幹事代行より、委員総数 15 名に対し出席委員は 12 名であり、開催定足数（10 名）を満たしていることが確認された。

(2) 第 73 回水化学管理分科会議事録の確認

宮重幹事代行より、資料 P11SC74-1「第 74 回水化学管理分科会議事録(案)」について確認依頼があった。分科会終了時刻までに出席者からコメントはなく、議事録として承認された。

(3) 各作業会からの報告について

1) PWR 水化学管理指針作業会（加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針）

前田常時参加者より、資料 P11SC74-2-5「“加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針：202X”改定原案に関する書面投票【STC25-01】の結果について」に基づき、8/7 より実施された加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針の改定原案について、書面投票の結果、可決されたことが報告された。続けて、前田常時参加者より、資料 P11SC74-2-1「PWR 一次系水化学管理指針改定案」および資料 P11SC74-2-3「コメント対応一覧表」に基づき、投票時のコメント内容および回答について説明があった。

出席者からの主なコメントや修正方針は以下の通り。

- ・ 現在、新規制定もしくは改定作業中の他の指針では、JIS Z 4001 廃止対応は経過措置としないものも多いが、この指針は経過措置対応とすることとした。文案は、他の指針との整合性の観点から事務局に確認したものにに基づき作成することとし、メール審議とすることとした。
- ・ 原子炉一次冷却材温度 82℃未満における分析項目を示す表について、ほう素同位体比の測定頻度に関わる注記の削除は合意したが、頻度の根拠を示す附属書 F 表 F.2 ほう素同位体比の設定の考え方に関する記載について、新たなほう酸の供給がなく同位体比は変動しないことを記載することとした。
- ・ 表 E.18 使用済燃料ピット水の制御値のうち、ほう素に関する記載について、専門部会議事録のように「制限値」を入れると、「制御値」との棲み分けが難しく、混乱をきたす可能性もあることから、改定案には「制限値」の語句を記載しないこととした。
- ・ ほう素濃度を示す単位「mg/L as B」の記載について、一般的な記載ではないことから、ほう素同位体比の分析標準に倣い、(B: mg/L) の記載に見直すこととした。
- ・ Later となっている冒頭のまえがき（英文）について、BWR 指針を参考に文案を作

成することとした。

次回の専門部会の資料提出期限（10/23）に向けて作業を加速することとした。また、現在10/17 期限で作業会メンバーによる全文レビューを行っているが、分科会メンバーも並行して確認することとした。

2) BWR 水化学管理指針作業会

宮重幹事代行から口頭で沸騰水型原子炉の水化学管理指針について、最終原稿を事務局に提出し概ね作業が完了したこと、今後、試し刷りによる最終確認を経て、発刊される見込みであることが報告された。また、講習会については、開催日や開催形態（対面 and/or Web）とあわせて今後調整することとした。

(4) 倫理教育の報告

宮重幹事代行より、倫理教育が完了し、事務局に回答する予定であることが報告された。

(5) 5 か年計画

宮重幹事代行より、事務局より依頼のあった5 か年計画の見直しについて説明があり、例年通り各作業会にて検討することとした。回答期限は 1/16 であり、次回もしくは次々回の分科会にて議論することとした。

(6) 標準アンケート対応

宮重幹事代行より、事務局より依頼のあった標準アンケートについて説明があり、沸騰水型原子炉の環境緩和標準策定事前検討 WG の発足を追記することとした。

(7) 新知見の提案

宮重幹事代行より、事務局より依頼のあった新知見の提案について説明があった。1/16 期限に向けて次回以降の分科会で議論することとした。なお、参考として IAEA SSG13 が改訂され、新たに BWR の原子炉水でふっ素が追加となったことが紹介された。

(8) 次回の分科会

次回の分科会は、11/18(火) 13:30～を候補日とし、調整することとした。

以上